



学校だより 冬休み前号

令和7年12月25日

杉並区立済美養護学校

校長 伴 比佐志

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibiyougo/>

「成長を促せる安心・安全を見直す」 校長 伴 比佐志

本日、2学期の終業式を行い、児童・生徒に2学期のあゆみを渡しました。2学期の学習の成果を記しております。御家庭で、お子さんのその成果を褒めてあげてください。褒められることは、3学期の学習に向けたモチベーションになります。どうぞ、御協力をお願いいたします。

令和7年は、済美養護学校の歴史において大きな変化があった1年でした。9月からの小・中学部が建物を分かれての学習環境となったことは、1番の大きな変化です。

旧校舎の玄関は、7月まで人があふれていた空間に余裕が生まれ、小学生の靴の履き替えや教室までの移動がスムーズになりました。各教室の空間に余裕が生まれ、着替えや身支度・係活動がスムーズになった学年があります。レターボックスのプリントの回収や保健室への出欠表の提出という、係活動を行う児童の主体的に係活動に取り組む様子が伺えます。

新校舎は、新しい学習環境に中学生が早々になじみ、旧校舎にいた頃よりも学習に向かう姿勢や行動面において、自らをしっかりと律している姿が見られます。2階の済美教育センターの訪問者や職員等のなじみがない大人とのかかわりの中で、挨拶ができる生徒が増えました。相手への視線や姿勢からも、中学生の振る舞いが生まれていると実感します。

一方で、余裕が生まれた教室内で、机やロッカーの淵や角にぶつかってしまい、打撲や擦過傷で痛い思いをさせてしまった児童・生徒がいます。本当にごめんなさい、おわびいたします。新しい学校生活を迎えるにあたり、全教職員で想定した安心・安全な教室環境に、予見ができていなかった事案です。学校教育目標では、将来の社会参加に向けた自立の力を養うことを掲げており、その力を引き出して確実に身につけるには、児童・生徒が主体的に学習に臨めるよう、何よりも安心・安全な学習環境を整えることが、最重要・最優先であると再認識しております。

そこで12月から、あらためて、月初めに行う全校の安全確認だけでなく、毎日の下校後の清掃を含めた環境整備を形骸化させないことを全職員に周知・徹底しています。コーナーガード等の設置や段差の解消等を推し進めますが、これで安心するのではなく、それでも「ここにぶつかるかもしれない。」「ここで転ぶかもしれない。」「この教材でけがをするかもしれない」という意識を全職員が保ち、未然に事故を防ぐ対策を行います。御来校の際にお気づきになられたことがございましたら、教員に遠慮なくお伝えください。多くの大人の目で確認することで、新たな気づきが生まれ、新たな対策につながります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「給食試食会」

給食室

10月10日（金）に給食試食会を開催しました。調理作業の様子や、形態食・食物アレルギー対応・安全対策などについて御紹介し、中学部の校舎に完成した新しい給食室の内部の様子もスライドでご覧いただきました。当日の献立は「キムチチャーハン・わんたんスープ・杏仁豆腐・牛乳」でした。御試食された保護者の方々からは、「おいしくて感動しました！」「調理員さんたちの、子どもたちへのあたたかい想いが感じられて、とても嬉しかったです。」など、うれしい御感想をたくさんいただきました。ありがとうございます。これからも子どもたちが、「明日も学校に行くのが楽しみ！」になるような、おいしくて安全な給食を、心を込めて作ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。